

# 平成30年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
教育心理学				演習		守 秀子	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2年	1	30	15	後期	卒業:選択	幼児:選択	保育士:必修
[授業の目的・ねらい] 子どもたちが主体的に学ぶことを支えるための学問としての教育心理学の授業をおこなう。教育心理学の基礎的理論のなかでも、特に子どもの学習場面に活かせる内容を習得することを目指す。							
[授業全体の内容と概要] テキストに沿って講義を行うほか、知能検査、性格検査などの諸検査および、実験を取り入れる。学生は「発達心理学」および「発達心理学Ⅱ」で子どもの心身発達の諸特性を学び終えているので、当科目では、記憶、学習、思考、動機づけ、個人差、社会化などに重点を置く。							
[受講上の注意事項] 受け身で受講するのではなく、積極的に参加する必要がある。課題は講義前に提出する。							
[使用テキスト] 石井正子・松尾直樹編著「教育心理学」 樹村房				[評価基準] 試験70%、小テストおよび課題30%			
回	項目		授業内容				
1	保育と教育心理学		保育者の役割と教育心理学 教育心理学の意義 基本的な児童観・教育観				
2	発達と教育		発達を規定するもの 発達段階				
3	学習Ⅰ		乳幼児と学習 学習の意義				
4	学習Ⅱ		学習理論、洞察学習、社会的学習				
5	学習Ⅲ		学習と環境 学習と教育				
6	思考		思考と言語 認知構造				
7	記憶		記憶のメカニズム 記憶の発達				
8	動機づけⅠ		やる気とは 動機づけの種類 やる気の発達				
9	動機づけⅡ		やる気を育てる				
10	個人差の理解Ⅰ		知能 知能検査				
11	個人差の理解Ⅱ		性格 性格検査				
12	社会化		人間関係の芽生え 広がり				
13	社会化		遊びと人間関係 向社会的行動				
14	特別支援		統合教育、統合保育、インクルージョン				
15	まとめ、補足、今後の課題		保育・幼児教育における教育心理学の問題点・今後の展望				